

**平成19年度のバランスシートと  
行政コスト計算書を作成しました**  
問合せ財政課 ☎551・1534

市では、民間企業などと同様、資産・負債の状況や行政コストを把握し、今後の財政運営に役立てていくため、総務省の作成基準に基づき、バランスシート(貸借対照表)と行政コスト計算書(損益計算書)を作成しています。

今回も昨年同様、普通会計に基づくバランスシートに加え、市全体の財政状況を明らかにするために、下水道事業会計や国民健康保険特別会計などの特別会計等を含めた、19年度の市全体のバランスシートと行政コスト計算書を作成しましたので、その概要をお知らせします。

平成19年度の決算状況についてはすでにお知ら

せていますが、市の財政状況は一段と厳しさを増し、今後も職員数や事務事業の見直しなど、一層の行政改革が必要となっています。

**●普通会計のバランスシート**

バランスシートは、決算時点(3月末)で市が保有する土地や建物等、資産の状況と負債等の資金調達の状況を一覧表にまとめたもので、借方にはこれまでに取得・築造した土地・建物や基金等、将来に残る財産〔資産〕を計上しています。また、貸方には市債(借入金)の残高、市職員の退職給与引当金等、将来の世代の人たちが負担しなければならない額が〔負債〕として計上され、資産形成のために使った国都支出金の額、市税等の一般財源の額(今までの世代の人たちが負担した額)を〔正味資産〕として計上しています。

資産合計は、18年度と比較し、約6億1千7百万円減少しています。

内訳は、「有形固定資産」で減価償却の減少を新庁舎建設事業などの増加が上回り約14億6千7百万円の増加、「投資等」は、庁舎建設基金の取崩し等により約19億4千2百万円減少、また「流動資産」では、歳計現金等の減少により約1億4千1百万円減少しています。

また、負債合計は約6億7百万円減少しています。内訳は、固定負債が市債残高約4億7千1百万円の減や退職給与引当金(現在の職員が19年度末で一斉に辞めた場合を仮定した退職金の額)約1億5千7百万円の減により約6億2千8百万円減少し、流動負債では、市債残高のうちの翌年度償還分が約2千1百万円増加しています。正味資産合計は、国都支出金、一般財源等を合わせて約9百万円の減少です。

**福生市全体のバランスシート(平成19年度)**

平成20年3月31日現在 (単位:百万円)

	普通会計	公営事業会計					合計 A	平成 18年度 B	差引 A-B
		下水道 事業会計	駐車場整備 事業会計	国民健康保険 事業会計	老人保健医療 事業会計	介護保険 事業会計			
<b>借方</b>									
資産の部									
1.有形固定資産(学校や公園、道路など土地や建物)	82,786	10,307	171			93,264	92,702	562	
2.投資等(基金、出資金など)	5,250			6	37	5,293	7,198	△1,905	
3.流動資産(財政調整基金、現金など)	2,493	88		507	10	3,219	3,329	△110	
資産合計	90,529	10,395	171	513	10	101,776	103,229	△1,453	
<b>貸方</b>									
負債の部									
1.固定負債(市債や退職給与引当金など将来の負担額)	14,812	7,488				22,300	23,564	△1,264	
2.流動負債(翌年度繰上充用額、翌年度支払予定の市債償還額)	1,049	692		138	45	1,924	1,907	17	
負債合計	15,861	8,180		138	45	24,224	25,471	△1,247	
正味資産の部(資産形成のために使った国、都からの補助金や市税など一般財源)									
正味資産合計	74,668	2,215	171	375	10	77,552	77,758	△206	
負債・正味資産合計	90,529	10,395	171	513	10	101,776	103,229	△1,453	

**●福生市全体のバランスシート**

市全体の資産合計は、平成18年度と比べ、新庁舎建設などによる普通会計の有形固定資産の増加がある一方、特定目的基金等の減などによる普通会計の投資等合計の差引などにより、約14億5千3百万円の減少となっています。

また、負債合計は、国民健康保険事業会計の赤字による予算の翌年度繰上充用額が増加しましたが、普通会計、下水道事業会計の市債残高がともに減少し、全体では、約12億4千7百万円減少しています。

なお、資産形成に支出してきた正味資産合計は、普通会計及び下水道事業会計の施設の減価償却などにより、約2億6百万円の減となっています。

**行政コスト計算書**

(単位:百万円)

	合計	民生費	土木費	教育費	衛生費	その他	平成18年度	増減額
人にかかるコスト 議員報酬、職員人件費など	3,871	561	291	1,003	228	1,788	3,976	△105
物にかかるコスト 施設管理費、減価償却費など	5,339	650	1,210	1,441	1,011	1,027	5,169	170
移転支的コスト 高齢者や児童などの手当、一部事務組合への負担金など	10,268	6,932	584	239	1,417	1,096	9,828	440
その他のコスト 借入金(市債)返済金のうち 利子分、市税の不納欠損など	349					349	404	△55
合計(A)	19,827	8,143	2,085	2,683	2,656	4,260	19,377	450

**収入項目**

使用料、手数料等	1,077	320	199	62	259	237	956	121
国都支出金	4,469	3,619	14	160	288	388	4,062	407
一般財源	13,097						13,195	△98
収入(B)	18,643						18,213	430
正味資産国都支出金 償却額(C)	838						805	33
一般財源等増減額 (B)+(C)-(A)	△346						△359	13

☞ バランスシートの有形固定資産の減価償却に伴い償却する国、都支出金

**●行政コスト計算書**

行政コスト計算書は、人的サービスや給付サービスのような資産形成につながらない、さまざまな行政サービスの提供に要したコストについて1年間の状況を明らかにしたもので、そのコストには、現金の支出だけでなく、建物等の減価償却費など現金以外の支出も計上しています。

19年度の行政コストの総額は、18年度と比較して、約4億5千万円増加しています。主な増減では「人にかかるコスト」が人件費及び退職給与引当金繰入等で約1億5百万円の減、「物にかかるコスト」は物件費、維持補修費等施設管理費などの増加により約1億7千万円の増、「移転支的コスト」では下水道事業会計繰上充用額が減少していますが、福生病院組合負担金等一部事務組合負担金などの増加に伴い、全体で約4億4千万円の増、「その他コスト」は市債利子や市税の不納欠損額の減などにより、差引約5千5百万円の減となっています。

また、「行政コスト」の総額に対する「収入項目」は、全体で約4億3千万円増加しています。主な増減では、「使用料・手数料等」が約1億2千1百万円の増、「国都支出金」が約4億7百万円の増、「一般財源」が約9千8百万円の減となっています。

**■給食センターパートタイマー募集**

①栄養士パートタイマー

学校栄養職員の補助等をしていただく方を募集します。

募集人員1名

応募資格 栄養士の免許を有する方  
勤務日時 給食稼働日の午前8時から正午まで(一部、午後までの勤務あり)

賃金 福生市学校給食センター栄養士パートタイマー雇用規定による

②調理員パートタイマー

調理をしていただく方を募集します。

募集人員2名(学校給食調理業務)

応募資格 市内在住の健康で体力に自信のある方

賃金 時給910円

勤務時間 給食稼働日の午前8時から正午まで(一部、午後3時までの勤務あり)

以下①②共通

勤務場所 第一・第二学校給食センター

試験方法面接(日時未定)

申込み 2月10日(火)まで(土・日曜日を除く午前9時～午後4時30分の間)に、本人が履歴書(自筆で記入し、最近撮影した写真を貼付したもの)と資格の免許証の原本(①のみ)を学校給食課給食第一係(牛浜162第三小学校裏第一学校給食センター内)へ持参してください。

問合せ 学校給食課給食第一係 ☎551・1344

**■インターホンをご活用ください**

2月16日(月)に、地下駐車場のエレベーター乗り場に車いす利用者のためのインターホンを設置します。



1～5階は床がじゅうたんのため、車いす利用者の自力走行が困難なことがあります。フロアマネージャーが対応しますので、ご活用ください。

問合せ 契約管財課管財係 ☎551・1535